

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495300095	事業の開始年月日	平成23年5月1日
		指定年月日	平成22年5月1日
法人名	株式会社 ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家・川崎久地2		
所在地	(213-0032) 神奈川県川崎市高津区久地2-12-23		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成23年6月17日	評価結果 市町村受理日	平成23年9月9日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1495300095&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

笑顔あふれる生活支援

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リウス4階		
訪問調査日	平成23年7月28日	評価機関 評価決定日	平成23年8月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームは大通りから、静かな住宅地に入った所にあります。周囲は車の出入りの少ない路地が多く、安心して散歩や外出が出来る環境にあります。敷地は広く、同じ法人のホームと隣り合わせています。隣のホームとは運営推進会議など様々な場面で協力しあっています。管理者と職員との信頼関係も厚く、利用者にはいつも笑顔をモットーに理念の実践に取り組んでいます。 <優れている点> 開設から1年が過ぎたばかりの新しいホームですが、敬老会、子ども会のイベント、お祭りなど地域との交流が盛んで地域にすっかり馴染んでいます。管理者も自治会の会合や地域の講演会に講師として出席するなど積極的に関わっています。 <工夫している点> 路地の多い住宅地であるということや3月の大震災の例などもあり、防災の意識が高い地域性があります。ホームの災害訓練のほか、地域の訓練にも参加したり、利用者緊急避難の一時的保護を近隣住民宅が分担して受け持て下さる協力体制を築くなど、いざという時に備えています。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・川崎久地 2
ユニット名	1F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらい
			3, 利用者の1/3くらい
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開所前研修で職員、一人ずつ言葉を出し合いその中から良い言葉を取り、ホーム長がまとめた。職員が覚えやすく実践に生かせる事を考えて作った。日々入居者様に笑顔で過ごして頂けるよう心がけています。	法人とホームの理念は玄関やスタッフルームに掲げて職員の共有を図っています。ホームの理念は開設時に全職員が係わり、作り上げたものです。いつも笑顔をモットーに理念の実践に努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会や地域の障害者作業所などから祭りの誘いがあり参加しています。又久地敬老会に参加しカラオケなどを一緒にさせていただいています。その他にも子供会のイベントや町内会の行事にも参加させていただいております。	町内会に加入し、管理者は会合に出席しています。町内行事（敬老会、町内の防災訓練、子供会のイベント、お祭りなど）参加のほか、ホームのカラオケ大会などに地域の人達が参加したり、地域と活発に交流をしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	昨年、秋に地域包括支援センターより依頼があり、日々のケアの実践について講演を行いました。その他自治会長や民生委員等にもホームでの生活の状況を説明し理解を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度、近隣施設久地との合同で、入居者ご家族、地域包括、地域住民様と行っている。その中で避難訓練について、婦人部会長様よりアドバイスを頂く等、生活支援の向上に繋げている。	運営推進会議は2か月に1回確実に開催しています。メンバーは地域代表（町内会長・民生委員）、利用者家族、地域包括支援センター職員が参加し、ホームの活動報告、行事計画、防災等討議しホームの運営に反映しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険や生活保護に関する相談や連絡をかかしていない。又、運営推進会議にともない、地域包括とも連携をとっている。連絡会などがあるようだが、それには参加できていない。	まだ開設から1年程なので、行政窓口とは今後の連携を期待し、ホームの運営に活かそうとしています。グループホーム連絡会などにも積極的に参加してしていく予定です。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、会社としても厳しく指導されている。社内研修もあり禁止の対象となる具体的な行為や手引きをもとに、拘束しないケアに取り組んでいる。	身体拘束の弊害については、法人の研修やホームのフロア会議などで徹底し、拘束のないケアに取り組んでいます。言葉の使い方についても管理者は実践の中で注意、啓蒙を図っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修で学ぶ機会がある。その他ホーム内でも定期的に勉強会や委員会を開催し職員間の意見交換も行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度に関しては必要に応じて勉強会など開き理解し活用したいと思っているが、現状は出来ていない。個々の必要性に応じ話し合い、活用できるよう支援して行きたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	各契約の時、時間をかけて説明を行った後、疑問点などお聞きして理解して頂いている。その時だけではなく随時質問を受け、不安なく理解、納得されるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族会を定期的に関き家族様の意見や要望などを伺っている。その他面会にいらした際にも意見要望を遠慮なく言って頂けるような関係が築けている。玄関に意見箱を設置している。	家族会はコミュニケーションの場でもあり、運営推進会議においても、利用者、家族の要望、意見を聴く機会を作っています。日頃家族の訪問時にも意見、要望を聞くようにしています。利用者の外来受診時の職員対応は家族会からの提案でした。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロアーミーティング、全体ミーティングを通じ意見や提案を反映できるようにしている。	管理者は職員の要望、意見が自由に言える雰囲気をつくっています、フロア会議や合同会議での意見、要望は運営に反映するようにしています。職員の提案で現場に合わせたシフト体制の改善を図りました。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業状況は人事担当が管理している。年に2回の人事考課を通して各自の目標設定、評価を行っている。その他パート職員から正社員への推薦や資格試験の講習や研修の日程に合せたシフト調整をしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	川崎市からの定期的な研修の案内や社内研修を取り入れ参加出来るようシフト調整を行っている。社内には職員の成長に合せての研修が随時あり、多くの職員が参加し学べる環境がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市の研修や社内委員会活動、研修などを通じ交流する機会としてステップアップにも繋げている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当初は特に職員全体でご本人の要望や様子に注意を払っている。常に声かけを行い安心してサービスが受けられるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	信頼して頂けるよう充分に話を伺えるように努めている。又 来所された際にはこちらから、声かけを欠かさないようにしている。		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用前にお客様ご本人と面談を行い意向確認書を元に相談し必要としている支援うを見極めるよう努力している。必要に応じて在宅サービスや他サービスも説明している。		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様同士の関係作りを大切に出来るよう支援している。人生の先輩として尊敬し共に助け合いながら生活出来るよう支援している。		
19		○ 本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様と利用者様がより良い関係が築けるよう、報告、相談を行い共に利用者を支えている。面会の少ない利用者様には月に1度（一言通信）を送り様子を伝えている。		
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の問い合わせも、ご本人の気持ちを優先している。ご本人との会話の中で馴染みの人や場所について、良く話すようにしている。その他家族の要望もあるので、個々の対応をしている。	在宅当時からの美容院や田舎への墓参り、以前からの病院への通院など、できるだけ今までの関係を大切に、家族の協力のもとに支援しています。携帯電話を持ち、家族と自由に連絡をとっている利用者もいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩や外出の際利用者どうし関わりが持てるよう支援している。日常生活の中でも家事を行いながら支えあえる様支援している。その他利用者どうしトラブルがないよう心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	自宅の戻られる場合には退居後に利用するサービスの情報提供。他施設に入居される時や入院時などにも情報提供している。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人、ご家族と話を聞き希望や意向の把握に努めている。	日頃の利用者との会話や素振り、態度などからくみ取り、利用者の希望や意向を把握するように努めています。意思疎通が困難な利用者には家族の意向を踏まえて対応しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人から 入居前資料と合せ出来るだけ情報を集めホームでの生活に反映されるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人との会話、日々の記録や申し送り、モニタリング、カンファレンス等から把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス、モニタリングを定期的に行いご本人、ご家族の意見を取り入れて介護計画を作成している。	介護計画は本人の希望、家族の要望を踏まえ、医師との連携のもとに作成しています。一人ひとりのモニタリングで計画の見直しをしています。計画の実施状況などいつでも家族が見れるよう、配慮しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常のケアを生活記録や入居者申し送りノートに記入し、職員間で情報の共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者に状況に応じて訪問マッサージや、ご家族の協力で散歩に出かけたり柔軟なサービスを提供できるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議等で地域資源について情報収集している。具体的には、地域のいいいの家を利用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回の往診の他、随時相談や指示を受けている。	主治医の往診、看護師の巡回、歯科医、歯科衛生士の定期的訪問、薬剤師の服薬と指導など利用者へ適切な医療が出来るよう支援しています。在宅以来の医療機関の通院への支援もしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週ごとの様子を連絡記録に記載し、訪問看護師来所時に情報の共有と相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医に報告し指示を受け入居者の急変時等 協力医療機関への入院が円滑に行えるように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	文書にて急変時の意向を確認し保管している。	急変時における対応、看取りについての対応は「みんなの家重度化した場合の対応に係る指針」に基づき共有しています。利用者の介護度の変化に伴い、終末期や看取りのケアに取り組むことを視野に入れ始めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	高津消防署等で救急救命の講習を受けている。又、入居者の服薬、身体状況が分かるように個々のファイルを作成し すぐに活用できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	3月にホーム内で久地1と合同で避難訓練を行った。	ホームの周りは狭い路地が多く、元々防災には関心が高い地域性があります。地域との連携は深く、利用者緊急避難の一時保護を近隣住民宅が分担し、受け持つという協力体制が整えられています。	災害時の備蓄は現在、水と缶詰を備えています。加えて非常食などの備蓄も検討されることも期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティング等で一人一人あった言葉かけが出来ているか、プライバシーを尊重したケアが出来ているか 確認を行う共に職員に意識の向上に繋がるよう指導している。	利用者と職員は良好な関係が作られています。どちらかといえただけた言葉かけが行われています。不適切と思われる対応があった場合にはその都度、その場で注意、意識の向上を促しています。	管理者は、利用者への言葉かけや対応については多少課題があるとの認識を持たれています。日々の実践や研修などを通し、人格の尊重、プライバシーの確保に更に取り組まれることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な範囲で自己決定ができるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ希望に添えるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服等、ご自分で選んでもらい身だしなみに関心が向くよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備等、その方に合った家事をお願いしている。又、月に1回のペースでお寿司を頼み 食事を楽しんで頂いている。	配膳、食器拭き、棚に食器を片付けるなどさまざまな場面で利用者が活動している様子が観察できました。食事作りは専門の職員が行っていますが、おやつは出来る限り利用者と手作りを楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量は、チェック表で個人ごとに把握しており、ひとりひとりの状況に合わせて取り分けたり、きざみ食やおかゆも取り入れている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師及び歯科衛生士が定期的に訪問し口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を利用し、個々のトイレの間隔を把握し、声かけや誘導を行い自立した排泄が出来るように努めている。	排泄チェック表を基に利用者一人ひとりの間隔やパターンを把握しています。職員は、声かけや誘導など支援を行っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医と相談し水分摂取、運動を勧め、時には個々に応じた内服薬を処方し対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	季節感を感じられるように、菖蒲湯やゆず湯等を利用し、個々の状態に合わせた入浴が行えるようにしている。	自立している利用者は、職員のさりげない声かけのみでご自分のペースで入浴しています。1階にはリフトが設置され、介護度の高い利用者も安心して入浴ができます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方に応じて昼間の休息を勧めたり、夜間の就寝時間も自由に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を基に入居者の内服薬の確認を行っている。薬を届けに来た薬剤師に説明を受け相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとりひとりの嗜好にあったレクリエーションの提供と家事を中心に役割を設け支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日など、定期的に散歩や買い物に出かけている。又、ご家族の協力で外出されています。	利用者にとって夏は外出が控えがちになる季節ですが、朝の涼しい時間帯に朝食で飲む牛乳の買い物や散歩など働きかけ、出来るだけ戸外に出かけられるよう工夫しています。今年度は個別外出に取り組んでいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族から了承をえて、お金を所持されている方もいます。散歩や外出の際に支払いも行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を利用されている方もいます。手紙のやりとりの支援、電話の取り次ぎ等も行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとに利用者が作った飾りを展示したり、写真を飾っている。	建物全体がゆったりとした造りになっています。カーテンで随時日差しの調節を行っています。リビングには行事の際の写真や利用者が造った季節の作品が飾られています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの席は、気の合った利用者が隣になる様に配置し、それ以外は自由に談話したり、テレビが見れるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベットとタンス以外はご本人、ご家族が相談し持参した家具を自由に配置している。	仏壇、家族の写真、使い込まれた鏡台、お気に入りの芸能人のポスターなど居室はそれぞれその方らしく過ごされている様子がうかがえました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋の入り口に名札をかけ、混乱される方には、分かりやすく大きく書いた名札をかけている。		

事業所名	グループホームみんなの家・川崎久地 2
ユニット名	2F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開所前研修で職員、一人ずつ言葉を出し合いその中から良い言葉を取り、ホーム長がまとめた。職員が覚えやすく実践に生かせる事を考えて作った。日々入居者様に笑顔で過ごして頂けるよう心がけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会や地域の障害者作業所などから祭りの誘いがあり参加しています。又久地敬老会に参加しカラオケなどを一緒にさせていただいています。その他にも子供会のイベントや町内会の行事にも参加させていただいております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	昨年、秋に地域包括支援センターより依頼があり、日々のケアの実践について講演を行いました。その他自治会長や民生委員等にもホームでの生活の状況を説明し理解を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度、近隣施設久地との合同で、入居者ご家族、地域包括、地域住民様と行っている。その中で避難訓練について、婦人部会長様よりアドバイスを頂く等、生活支援の向上に繋げている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険や生活保護に関する相談や連絡をかかしていない。又、運営推進会議にともない、地域包括とも連携をとっている。連絡会などがあるようだが、それには参加できていない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、会社としても厳しく指導されている。社内研修もあり禁止の対象となる具体的な行為や手引きをもとに、拘束しないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修で学ぶ機会がある。その他ホーム内でも定期的に勉強会や委員会を開催し職員間の意見交換も行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度に関しては必要に応じて勉強会など開き理解し活用したいと思っているが、現状は出来ていない。個々の必要性に応じ話し合い、活用できるよう支援して行きたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	各契約の時、時間をかけて説明を行った後、疑問点などお聞きして理解して頂いている。その時だけではなく随時質問を受け、不安なく理解、納得されるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族会を定期的に関き家族様の意見や要望などを伺っている。その他面会にいらした際にも意見要望を遠慮なく言って頂けるような関係が築けている。玄関に意見箱を設置している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロアーミーティング、全体ミーティングを通じ意見や提案を反映できるようにしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業状況は人事担当が管理している。年に2回の人事考課を通して各自の目標設定、評価を行っている。その他パート職員から正社員への推薦や資格試験の講習や研修の日程に合せたシフト調整をしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	川崎市からの定期的な研修の案内や社内研修を取り入れ参加出来るようシフト調整を行っている。社内には職員の成長に合せての研修が随時あり、多くの職員が参加し学べる環境がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市の研修や社内委員会活動、研修などを通じ交流する機会としてステップアップにも繋げている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当初は特に職員全体でご本人の要望や様子に注意を払っている。常に声かけを行い安心してサービスが受けられるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	信頼して頂けるよう充分に話を伺えるように努めている。又 来所された際にはこちらから、声かけを欠かさないようにしている。		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用前にお客様ご本人と面談を行い意向確認書を元に相談し必要としている支援うを見極めるよう努力している。必要に応じて在宅サービスや他サービスも説明している。		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様同士の関係作りを大切に出来るよう支援している。人生の先輩として尊敬し共に助け合いながら生活出来るよう支援している。		
19		○ 本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様と利用者様がより良い関係が築けるよう、報告、相談を行い共に利用者を支えている。面会の少ない利用者様には月に1度（一言通信）を送り様子を伝えている。		
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の問い合わせも、ご本人の気持ちを優先している。ご本人との会話の中で馴染みの人や場所について、良く話すようにしている。その他家族の要望もあるので、個々の対応をしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩や外出の際利用者どうし関わりが持てるよう支援している。日常生活の中でも家事を行いながら支えあえる様支援している。その他利用者どうしトラブルがないよう心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	自宅の戻られる場合には退居後に利用するサービスの情報提供。他施設に入居される時や入院時などにも情報提供している。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人、ご家族と話を聞き希望や意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人から 入居前資料と合せ出来るだけ情報を集めホームでの生活に反映されるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人との会話、日々の記録や申し送り、モニタリング、カンファレンス等から把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス、モニタリングを定期的に行いご本人、ご家族の意見を取り入れて介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常のケアを生活記録や入居者申し送りノートに記入し、職員間で情報の共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者に状況に応じて訪問マッサージや、ご家族の協力で散歩に出かけたり柔軟なサービスを提供できるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議等で地域資源について情報収集している。具体的には、地域のいこいの家を利用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回の往診の他、随時 相談や指示を受けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週ごとの様子を連絡記録に記載し、訪問看護師来所時に情報の共有と相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医に報告し指示を受け入居者の急変時等 協力医療機関への入院が円滑に行えるように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	文書にて急変時の意向を確認し保管している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	高津消防署等で救急救命の講習を受けている。又、入居者の服薬、身体状況が分かるように個々のファイルを作成し すぐに活用できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	3月にホーム内で久地1と合同で避難訓練を行った。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティング等で一人一人あった言葉かけが出来ているか、プライバシーを尊重したケアが出来ているか 確認を行う共に職員に意識の向上に繋がるよう指導している。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な範囲で自己決定ができるように努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ希望に添えるように努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服等、ご自分で選んでもらい身だしなみに関心が向くよう支援している。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備等、その方に合った家事をお願いしている。又、月に1回のペースでお寿司を頼み 食事を楽しんで頂いている。			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量は、チェック表で個人ごとに把握しており、ひとりひとりの状況に合わせて取り分けたり、きざみ食やおかゆも取り入れている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師及び歯科衛生士が定期的に訪問し口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を利用し、個々のトイレの間隔を把握し、声かけや誘導を行い自立した排泄がで出来るように努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医と相談し水分摂取、運動を勧め、時には個々に応じた内服薬を処方し対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	季節感を感じられるように、菖蒲湯やゆず湯等を利用し、個々の状態に合わせた入浴が行えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方に応じて昼間の休息を勧めたり、夜間の就寝時間も自由に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を基に入居者の内服薬の確認を行っている。薬を届けに来た薬剤師に説明を受け相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとりひとりの嗜好にあったレクリエーションの提供と家事を中心に役割を設け支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日など、定期的に散歩や買い物に出かけている。又、ご家族の協力で外出されています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族から了承をえて、お金を所持されている方もいます。散歩や外出の際に支払いも行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を利用されている方もいます。手紙のやりとりの支援、電話の取り次ぎ等も行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとに利用者が作った飾りを展示したり、写真を飾っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの席は、気の合った利用者が隣になる様に配置し、それ以外は自由に談話したり、テレビが見れるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベットとタンス以外はご本人、ご家族が相談し持参した家具を自由に配置している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋の入り口に名札をかけ、混乱される方には、分かりやすく大きく書いた名札をかけている。		

目標達成計画

作成日：平成 23 年 9 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		利用者様の買い物や外出に添うことができない、人手不足もある	個別ケアの実施 利用者の思いに添う介護	利用者様をコンビニやスーパーだけではなく、駅前などに連れ出しご自分のなじみの場所などにも行けるようにしたい。シフトの調整	3ヶ月
2		家族会や運営推進会議など、参加者が決まっているので多くの家族様に参加していただきたい。	いつも同じ家族や、地区の婦人部の方だけではなく、ホームへの来所の少ない家族様にも参加していただけるようにする。	単なる会議ではなく、ホームスタッフや地区の住民の方々にも参加いただき、利用者様にとって本当はなのが一番良いのかを本音で話し合えるような会にするため、個々の家族様への呼びかけを行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。